

日	月	火	水	木	金	土
☺	☺	☺		☺	☺	
☺	☺	☺		☺	☺	

2月 2013年

日	月	火	水	木	金	土
					1 全日	2 休診
3 全日	4 全日	5 全日	6 休診	7 全日	8 全日	9 休診
10 全日	11 全日	12 休診	13 休診	14 全日	15 全日	16 休診
17 全日	18 全日	19 全日	20 休診	21 全日	22 全日	23 休診
24 全日	25 全日	26 全日	27 休診	28 全日		

★ 11日(月)は祝日ですが診療日となります。替りに12日(火)が休診となります。

3月 2013年

日	月	火	水	木	金	土
					1 全日	2 休診
3 全日	4 全日	5 全日	6 休診	7 全日	8 全日	9 休診
10 全日	11 全日	12 全日	13 休診	14 全日	15 全日	16 休診
17 全日	18 全日	19 全日	20 休診	21 全日	22 休診	23 休診
24 全日	25 全日	26 全日	27 休診	28 全日	29 全日	30 休診
31 全日						

★ 20日～23日は4連休になりますのでお薬等の不足やお間違いにご注意下さい。

当院サイトにも情報を掲載しています。
どうぞご利用ください。

http://www.azusawaseikei.com

あずさわせいけい ひとつこむ

〒174-0051
東京都板橋区小豆沢2丁目36-13
マツエククリニックビル5F・6F

TEL: 03-5916-4970 FAX: 03-5916-4977

あずさわ通信 第48号 [2013.02.01 発行]
あずさわ おもてなしの医療
小豆沢整形外科
発行元:

あずさわ通信

2013年
2月1日発行 第48号
あずさわ
小豆沢整形外科 おもてなし
の医療

経済も、医療も破壊する TPP を拒絶しよう！

危険なTPPの実態を知ろう

最近の外交・経済問題として最もよく報道される話題として、TPP 問題があります。TPP は Trans-Pacific Partnership の略で、「環太平洋(経済)連携協定」などと訳されます。『太平洋周辺の国々で人、物、マネー、各種サービスの移動を自由にしよう』という国際協定(実態については後述)とされ、日本は TPP への参加の是非について政界で議論中です。

もしあなたが TPP について「自由貿易が盛んになって、日本経済にとっても良いことだろう」なんて思っていたら、それは完全に誤りで、非常に危険な認識です。

TPP の実態は、[日本の国益を外国に売り飛ばし、何世紀にも渡って日本人を不幸に陥れる、とんでもない悪企み]なのです。

TPP とはいったいどのような協定なのか？ 要点を示します。

- ◆アメリカと日本だけで全加盟国の GDP の 9 割を占める。経済規模的にはアメリカ・日本の二国間協定であり、日本にとっては事実上、アメリカとの協定である。
- ◆単なる農産物自由化協定ではない。医療・労働・金融・知的財産・サービス・法律など 24 項目に渡る法規制が(アメリカ大資本に都合が良いように)変更される。日本が国として最低守るべき主権や健康に関わる部分がアメリカ資本に侵害される。
- ◆基本的にはインフレ対策の政策であり、デフレを促進する。長く深刻なデフレで悩む今の日本で実施するのは愚の骨頂。
- ◆主権侵害する危険な ISD 条項を含む

※ ISD とは、海外の投資家が国際間ビジネスで不利益を被った場合に、「損したのは相手国のせいだ」と言って国際機関「国際投資紛争解決センター」に訴えることができる制度。審理は公正と言えず、「投資家にどれくらいの損したか」という点だけに向けられ、「その国の政策が自国の公共の利益のために必要なものかどうか」は全く考慮されない。訴えられると負けることが多く、その決定の強制力は国内法を上回る。

アメリカと ISD 条項を含む経済協定を結ばれたカナダやメキシコは、既に ISD 条項の発動でアメリカ投資家から訴えられ大損害を被っている。国際投資では損するリスクがあっても当然なのに、損した時は一方的に相手政府を訴えることができるというのは主権侵害に近い。



貧困・失業・病気・不幸・自殺が増えます。それでもいいですか？

国同士の協定なんて自分の生活とは関係がない、と思っている人はいませんか？ そんなことはありません。日本国が正式に **TPP** 協定を締結し発効すれば、やがてあなたの生活に直接打撃を与えます。

経済評論家の三橋貴明氏らの意見を参考にすると、**TPP** 発効後の日本は次のようなことになります。

▲デフレ加速し、モノが売れず倒産・失業が一層増加し、給料は益々下がる。あなたの経済状況もどんどん苦しくなる。

▲食品の安全性が失われる。遺伝子組み換え食品の**表示が禁止され**、怪しい食品を消費者が選べなくなる。日本の厳しい残留農薬基準が大幅に緩和され、高濃度農薬汚染食品が流入。BSE(狂牛病)未検査牛肉も雪崩のように輸入されてくる。やがてあなたの健康は蝕まれ、病気が増える。



▲さまざまな分野で ISD 条項が発動される。例えば、燃費の悪いアメリカ車が日本で売れなかった場合、アメリカのメーカーが日本政府にイチャモンを付けて損害賠償請求できる。アメリカ車が売れない理由は、単に売れる車を作らないから。実際ドイツ車は日本で非常に売れまくっている。農産物も、日本の消費者基準に適合せず売れなかった場合、アメリカ食品企業から提訴される可能性がある。

▲アメリカ並みの訴訟社会になり、企業は頻繁に訴えられて経済活動がますます停滞する。

安心して病院にいけなくなります。それでもいいですか？

私が医師として特に強調したいのは、**TPP** 参加で医療サービスが悪化する危険性です。

▲薬価上限が撤廃されて、薬の値段がどんどんあがる。経済的余裕の無い人は薬をもらえなくなる。

▲公的保険医療が破壊され、悪名高いアメリカ民間医療保険会社が進出。保険料だけは毎月高額に巻き上げられるが、病院にかかっても、あらゆる難クセを付けて治療費が支払われない。



(マイケルムーア監督の映画「シッコ」をご覧になれば、強欲・冷酷な現代アメリカ医療界の酷い現実がわかります。TPP が発動すると日本でもこうなる可能性があります。)

アメリカの民間健康保険企業や薬剤メーカーは日本の医療市場を狙っています。彼らは、「日本の公的健康保険制度と薬価制限が邪魔だ」と言っています。**TPP** 発効すれば医療・薬剤の価格が高騰し、一部の大金持ち以外はまともな医療が受けられない、という医療暗黒時代が訪れる恐れがあります。

誰が得をする？

では **TPP** 推進派 (= 売国奴) は、何のメリットがあって賛成しているのか？

実は国会議員の半数以上が反対を表明していますが、政府の中にはアメリカの機嫌を取りたいと考えている者もいます。また、輸出で稼いでいる大企業の代表などは **TPP** 参加を支持しています。デフレ加速で国内の労働賃金を下げて海外で売り上げを伸ばせるので、会社の儲けが増えるからです。日本国民にとって **TPP** はメリットがなく、逆に多大なる国益を失います。興味深いことに、**TPP** で大多数のアメリカ市民にとっても利益がなく、ほんの一握りのアメリカ大資本家と投資家、およびその取り巻きだけが私腹を肥やすことになります。

また騙されるんですか？

テレビや大新聞では「**TPP** に参加しないと日本は自由貿易から取り残される」「日本はもっとグローバル化して構造改革しなければならない」とデマを流して国民を騙すのに懸命です。推進派は「**TPP** で 2.7 兆円の経済効果」と試算していますが、実は「10 年間で」を隠していました。1 年ではわずか 2700 億円！ わずかな為替変動で直ぐに消えてしまうくらいのわずかな額です。

たったそれだけの不確かな利益のために、日本人の主権や健康、国民の大事な財産を外国のハゲ鷹投資家に献上するのが **TPP** なのです。あなたは売国奴たちの陰謀に騙されないで下さい。

もう一度言います。**TPP** は日本経済を悪化させ、食の安全を失い、医療サービスを破壊する。

売国奴の走狗であるマスゴミ報道を信じず、あなたと家族を守るため **TPP** を断固阻止しましょう。

